令和２年度国立大学法人東京海洋大学第５回経営協議会議事要録

日　時　令和３年２月５日（金）　１４時３０分～１６時００分
場　所　白鷹館２階　多目的スペース１（品川地区）及び Webex によるビデオ会議
出席者　竹内学長、五十嵐委員、井手委員、井上委員、荻上委員、武藤委員、森委員、
　　　　山本委員、東海理事、黒川理事、工藤理事、渡辺理事、堀内副学長（兼　事務局長）
オブザーバー　青山監事、久保田監事、神田副学長、庄司副学長、川辺海洋生命科学部長、
　　　　　　　井関海洋工学部長、田中海洋資源環境学部長、舞田海洋科学技術研究科長
事務担当者　　溝部財務部長、永井企画評価課長ほか事務関係者

議　　事
【審議事項】
１　国立大学法人ガバナンス・コードへの適合状況について
　学長から資料１－１～１－２に基づき、国立大学法人ガバナンス・コードへの適合状況に関する報告書（案）及び本学の適合状況の詳細について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。また、報告書の公開にあたり軽微な修正等が必要となった場合の対応は、学長に一任することとした。

委員からの主な意見等は以下のとおり。
・公開後は他大学の状況も確認することができるが、それを受けて本学の記述を変更することもあるのか。
・ガバナンス・コードへの適合状況はHPに公開されるため、大学の良いところが伝わるようにHPの充実を図ることも必要である。
・国立大学としての共通の方針はあるだろうが、各大学が自らの立場で考えて経営していくことが大切である。本学においても、大学の特徴や独自性を踏まえ、ガバナンス・コードの実行・検証・改善のサイクルを回しながら実施していくことが重要である。

上記の意見に対し、学長から以下のとおり説明があった。
・更新は随時可能である。他大学の内容について、良い点は参考にしたいとは考えているが、本学の独自性が失われることがないよう注意して改善していきたい。
・ビジョン２０２７と同じように、きちんと検証しながら実施していきたいと考えている。また、様々なステークホルダーの視点を意識し、本学の特徴を取り入れ、実効性のあるガバナンス・コードとして機能させていきたい。

２　インフラ長寿命化計画（個別計画）について
　堀内事務局長及び澁谷施設課長から資料２に基づき、インフラ長寿命化計画（個別計画）について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

委員からの主な意見等は以下のとおり。
・計画の中に学生宿舎及び職員宿舎を除くとあるが、実際にはメンテナンスが必要ではないか。その場合、これらを含めた計画を立てなくてはならないのではないか。
・施設の管理（メンテナンス）状況についてはシステムで管理されているのか。施設のメンテナンスに現実的にどのくらいの費用がかかるのか把握するためにもシステム化は重要と考える。
・必要経費として不足している分について、資金の確保をするためにどのようなスケジュールで計画を立てているのか。
・土地の貸付けにより得られた資金については大学が自由に使うことができるのか。様々なアイデアを柔軟に取り入れた方が良い。
・施設の維持費等を試算することで、今後必要になる金額も算出できる。その金額を考慮したうえで土地の貸付けを検討していくことが重要である。

上記の意見に対し、学長、事務局長及び施設課長から以下のとおり説明があった。
・計画の中に含まれていない施設も含め、財源を確保してメンテナンスをしていかなければならない。本計画における財源の不足については、本学の土地を貸与することで得られた資金を充てて施設整備を計画的に行うことを考えている。また、学生宿舎や職員宿舎についてはそれぞれ完結するような形で別途検討していく。
・施設管理におけるシステム化については遅れている部分もあるが、情報は全て電子的な台帳により管理している。また、予防保全を計画的に実施するため中期計画毎に作成する「修繕執行計画」に向けて各建物の現状を把握し、現在運用を始めている。
・土地の貸付けにより得られた収入の使途について、規制緩和の流れも出ている。本学においても第４期中期目標中期計画の立案に向け、要望等は出しているところであり、工夫を凝らしていきたい。

【報告事項】
〇総務・財務
１　次期副学長候補者の選考について
学長から資料３に基づき、次期副学長候補者の選考及び職務分担について報告があった。

２　学術研究院長の指名について
学長から資料４に基づき、学術研究院長の指名について報告があった。

３　次期学部長・研究科長候補者について
学長から資料５に基づき、次期学部長・研究科長候補者について報告があった。

４　令和元年度に係る業務の実績に関する評価の結果について
　学長から資料６に基づき、令和元年度に係る業務の実績に関する評価の結果について報告があった。

５　令和２年度補正予算（第３次）及び令和３年度予算の内示について
　堀内事務局長から資料７に基づき、令和２年度補正予算（第３次）及び令和３年度予算の内示について報告があった。

〇その他
・　新型コロナウイルス感染症への本学の対応について
　堀内事務局長から資料８に基づき、新型コロナウイルス感染症への本学の対応について報告があった。

【意見交換】
・　With-Corona,Post-Coronaにおけるビジョン２０２７の実現に向けた課題と対応
　学長よりWith-Corona,Post-Coronaにおけるビジョン２０２７の実現に向けた課題と対応については、時間の都合により次回経営協議会にて委員から意見を伺う旨の説明があった。

以上

配付資料
〇令和２年度第４回経営協議会議事要録

資料１－１	国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書（令和２年度）（案）
資料１－２	国立大学法人ガバナンス・コード適合状況　整理表
資料２	国立大学法人東京海洋大学インフラ長寿命化計画（個別計画）抜粋版
資料３	次期副学長候補者の選考について
資料４	学術研究院長の指名について
資料５	次期学部長・研究科長候補者について
資料６	令和元年度に係る業務の実績に関する評価の結果について（通知）
資料７	令和２年度補正予算（第３次）　及び　令和３年度予算の内示について（概算要求事項の予算状況）
資料８	本学の新型コロナウイルス感染症への対応　他
資料９	With-Corona,Post-Coronaにおけるビジョン２０２７の実現に向けた課題と対応